

平成18年11月期

決算説明会

日本毛織株式会社

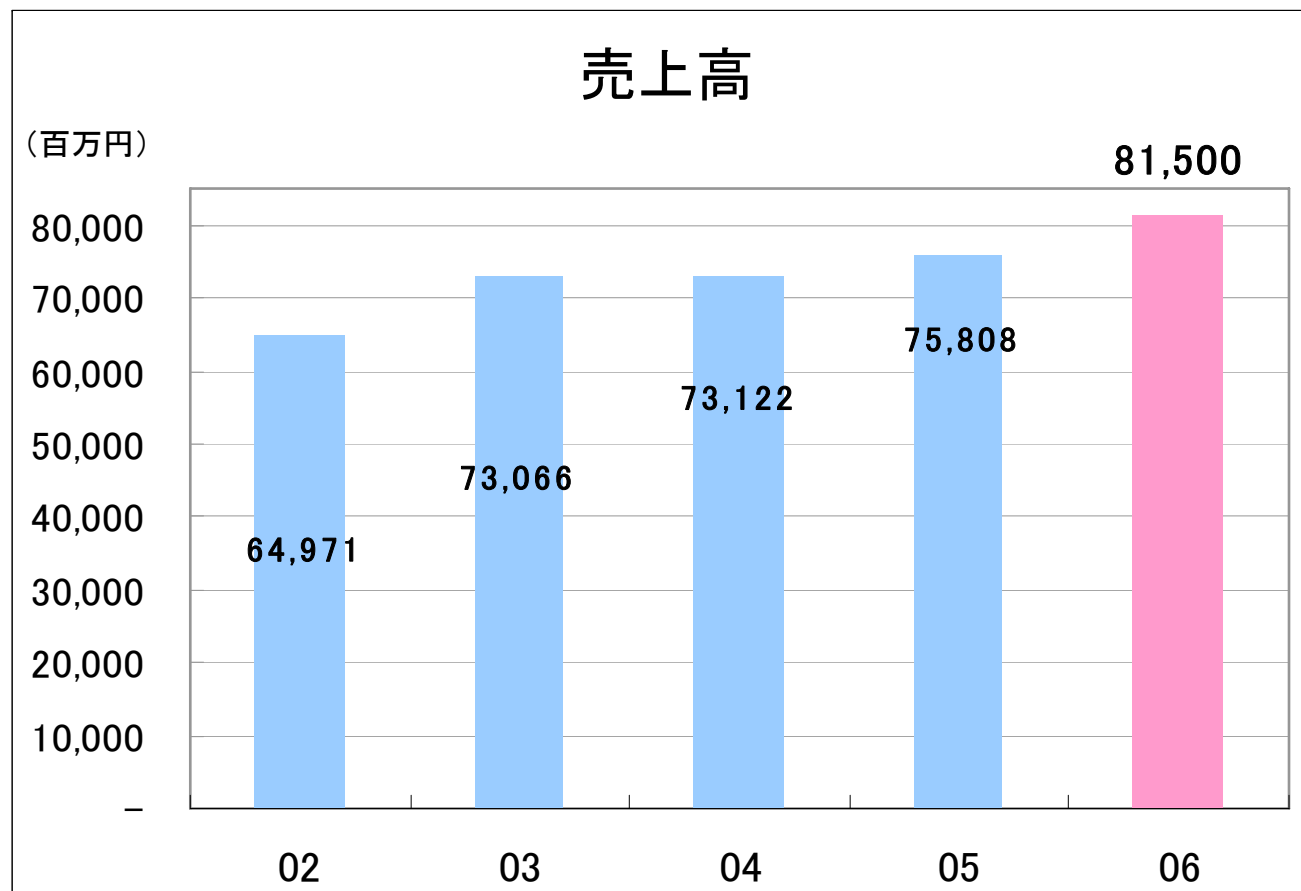
NIKKE.

連結業績概要

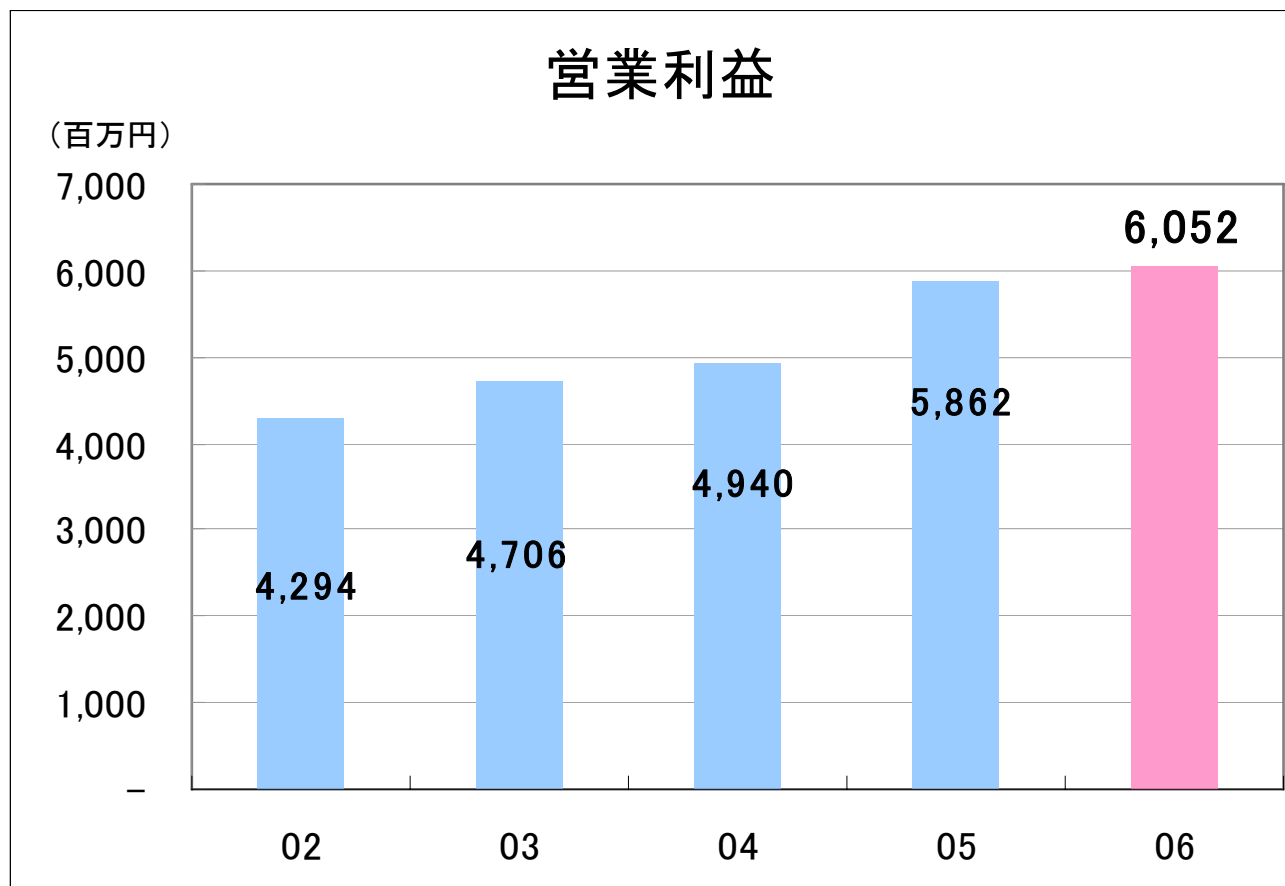
	04年	05年	06年	前年比	
売上高 (百万円)	73,122	75,808	81,500	+5,692	+7.5%
営業利益 (百万円)	4,940	5,862	6,052	+190	+3.2%
経常利益 (百万円)	5,287	6,278	6,519	+241	+3.8%
特別損益 (百万円)	▲181	60	1,763	+1,703	
当期純利益 (百万円)	3,147	3,724	4,143	+419	+11.3%
1株当たり当期純利益 (円)	37.95	44.86	50.23	+5.37	

06年連結子会社45社 ・・ (新規)5社、(除外)2社

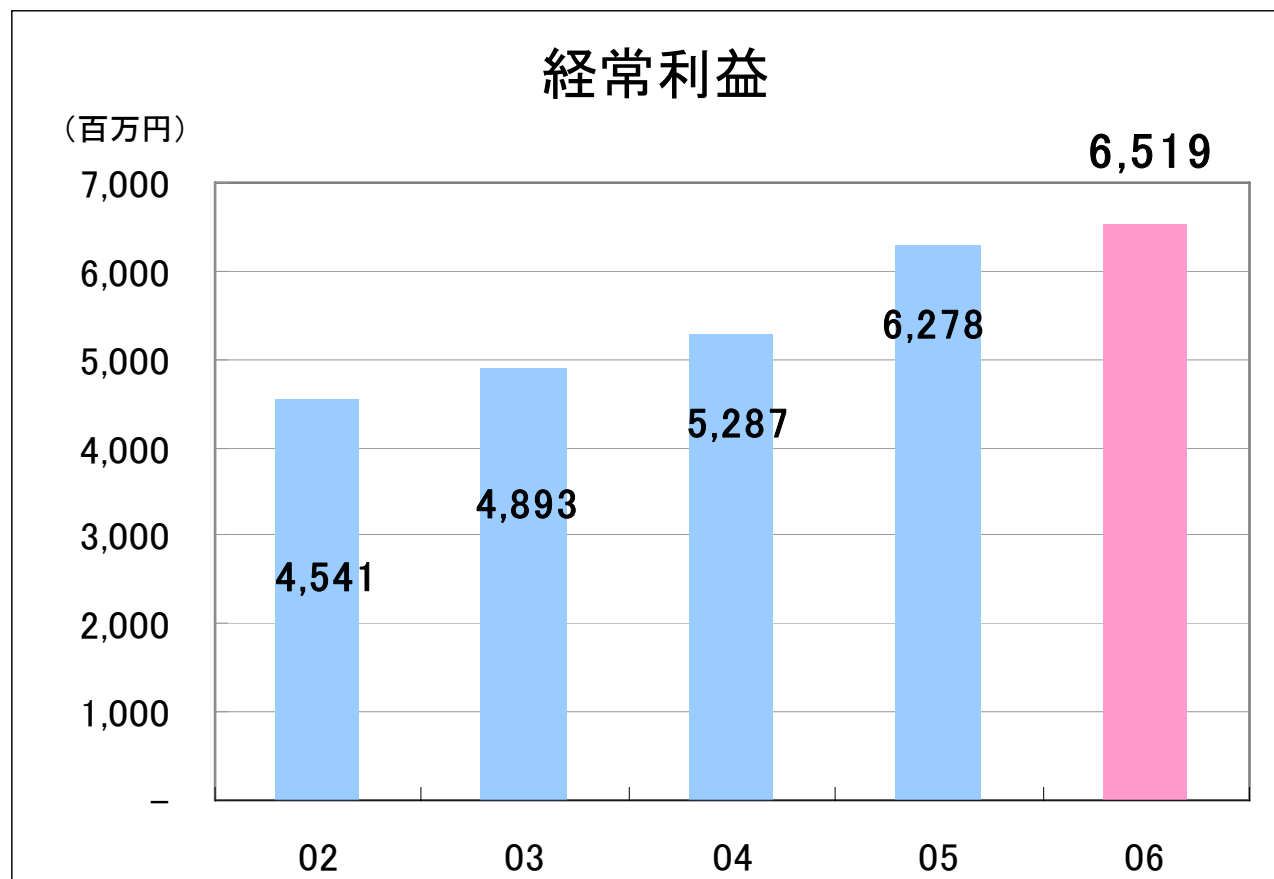
連結業績概要



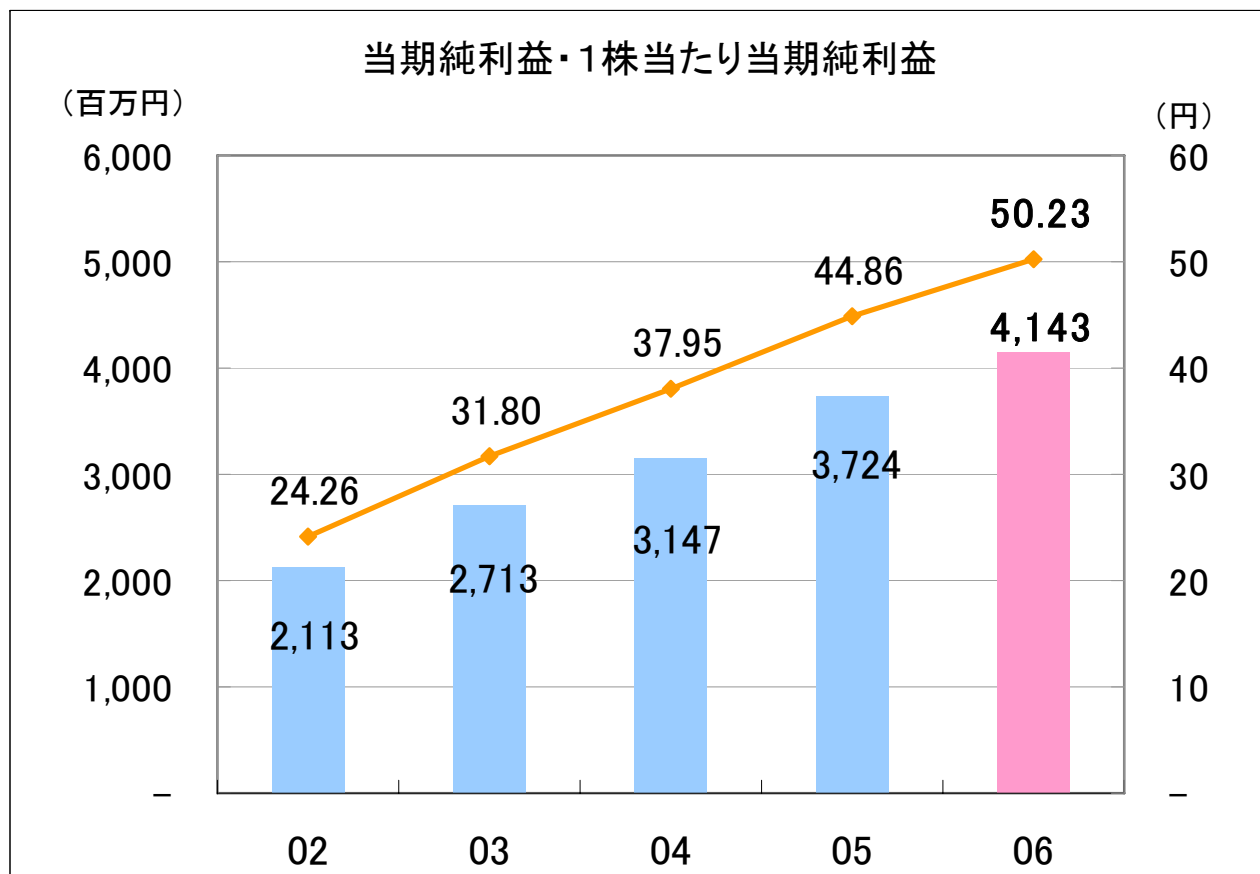
連結業績概要



連結業績概要



連結業績概要



連結財政概要

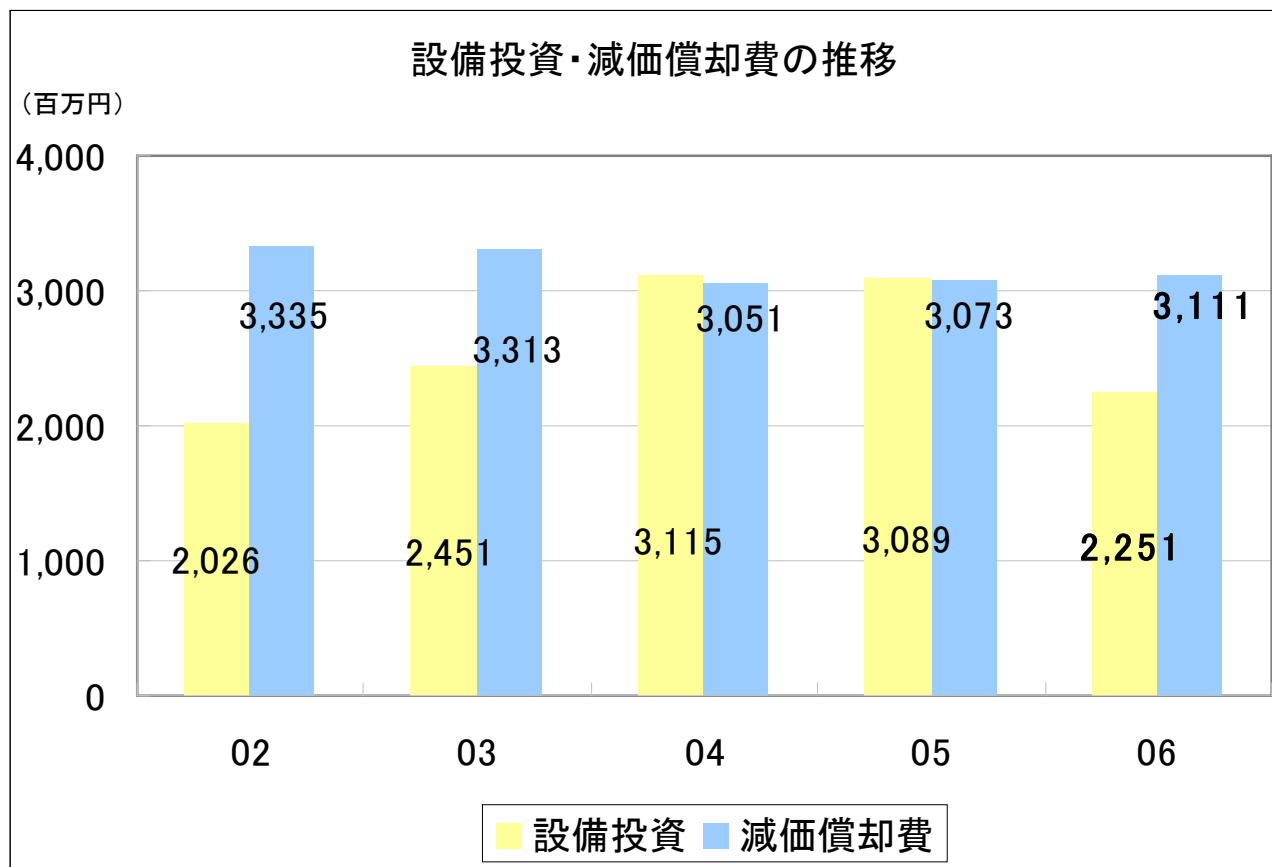
	04年	05年	06年	前年比
総資産 (百万円)	118,069	133,878	138,718	+4,839
※ 自己資本 (百万円)	65,227	76,187	76,751	+ 564
1株当たり 純資産 (円)	795.09	923.24	929.77	+ 6.53
有利子負債 (百万円)	13,902	14,503	16,488	+ 1,985

※ 自己資本：少数株主持分を除く期末純資産

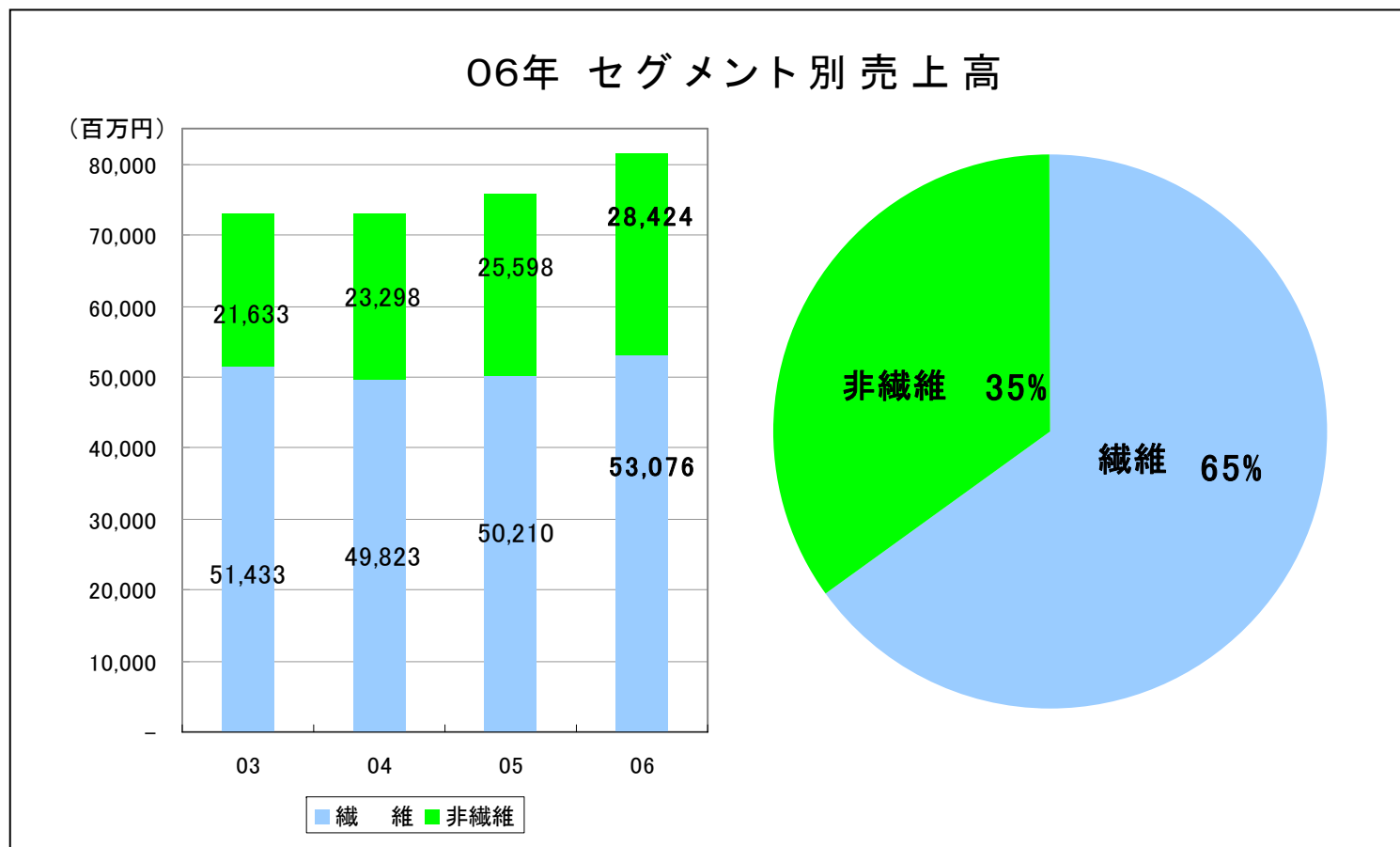
キャッシュ・フロー

	05年	06年	06年 特記事項
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	6,460	2,100	前払年金費用 ▲4,474
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	-5,188	362	投資有価証券売却償還 +5,271
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	-1,449	-5,846	長期借入金返済 ▲4,130
現金及び現金同等 物期末残高 (百万円)	14,942	11,935	増減 ▲3,007

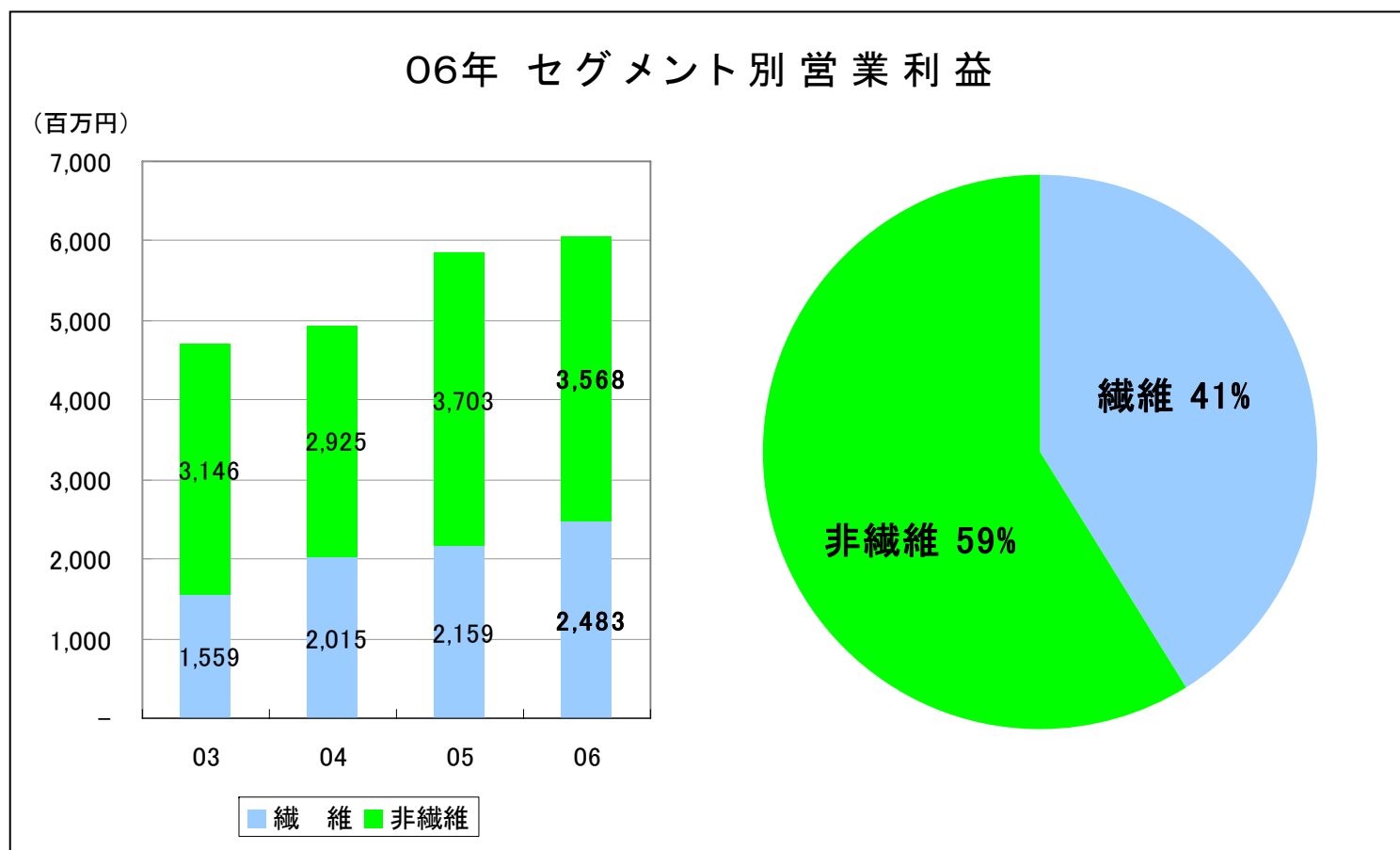
設備投資・減価償却(有形固定資産)



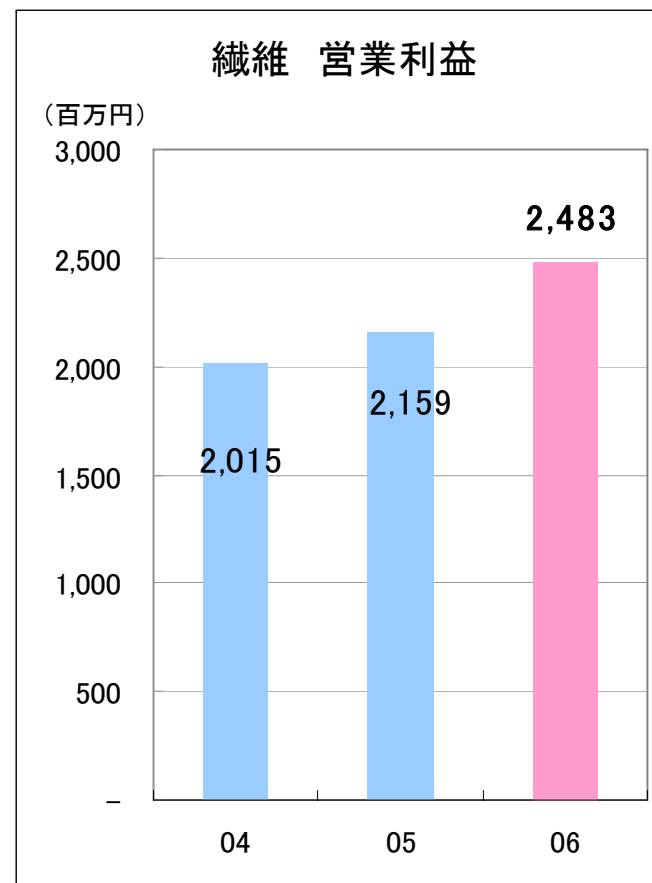
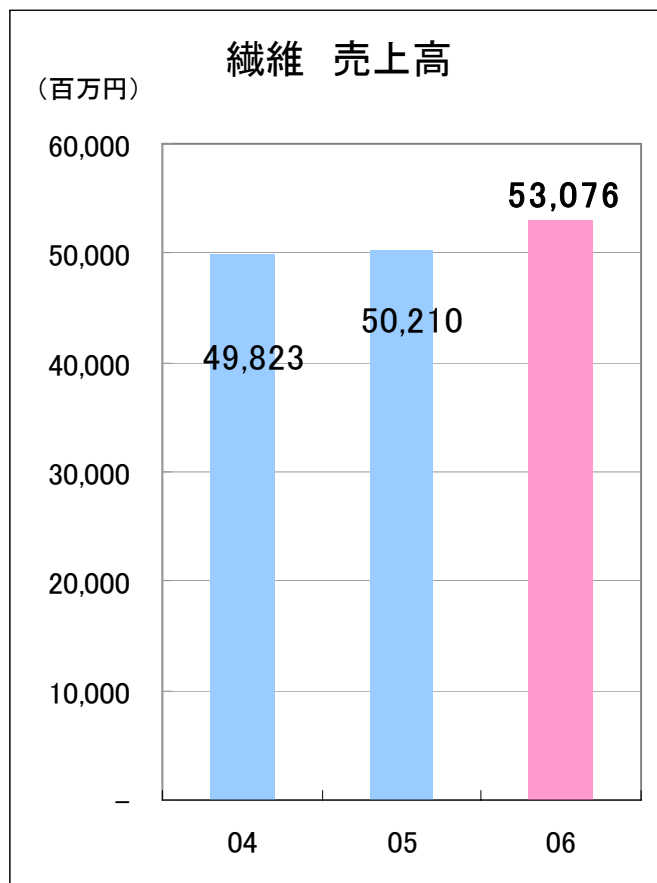
セグメント別業績の概要



セグメント別業績の概要



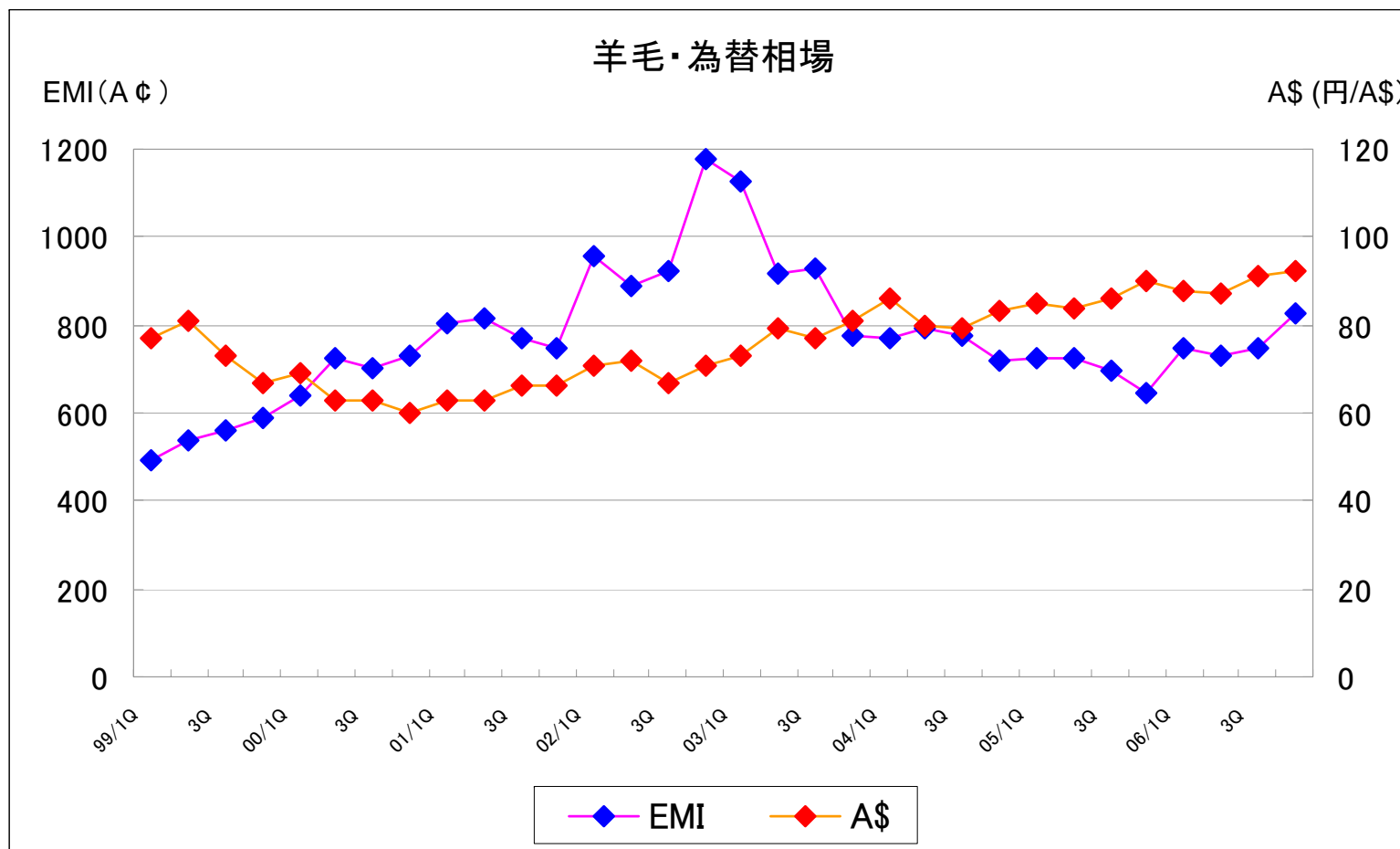
繊維事業の概要



06年売上高: 前年比+2,866百万円(+5.7%)

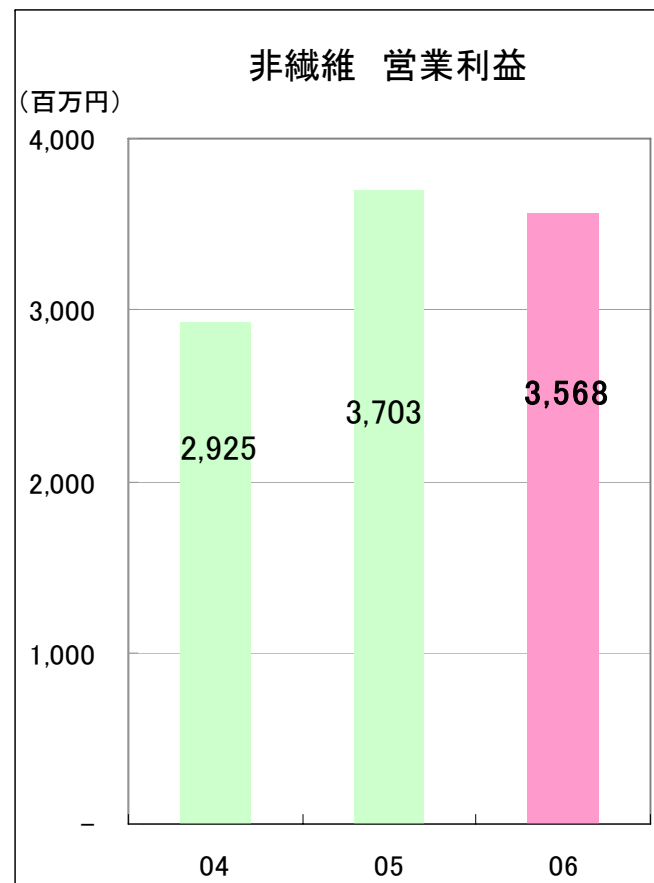
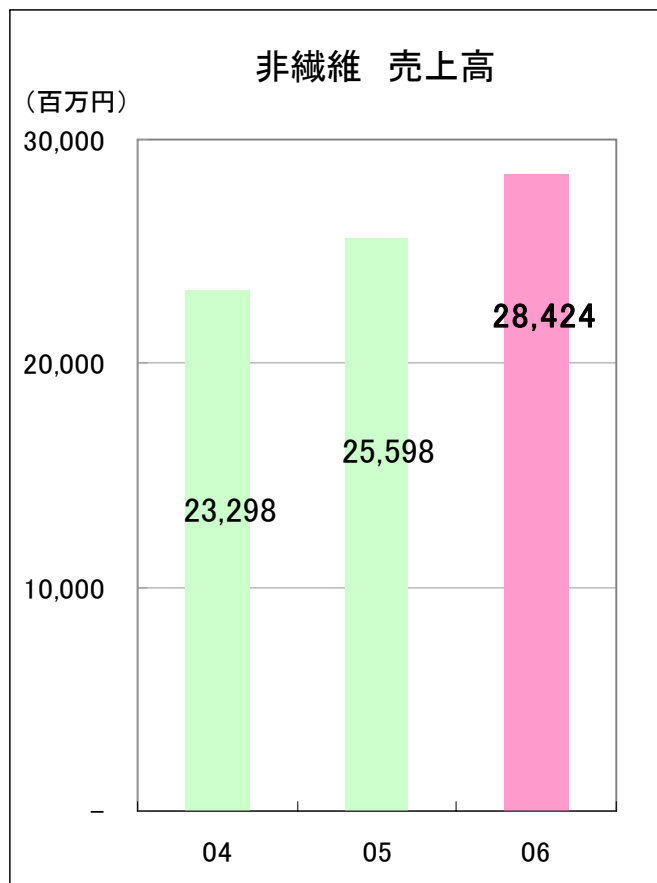
06年営業利益: 前年比+324百万円(+15.0%)

羊毛相場・為替相場の推移



EMI:豪州羊毛取引所の東部市場価格指標

非繊維事業の概要

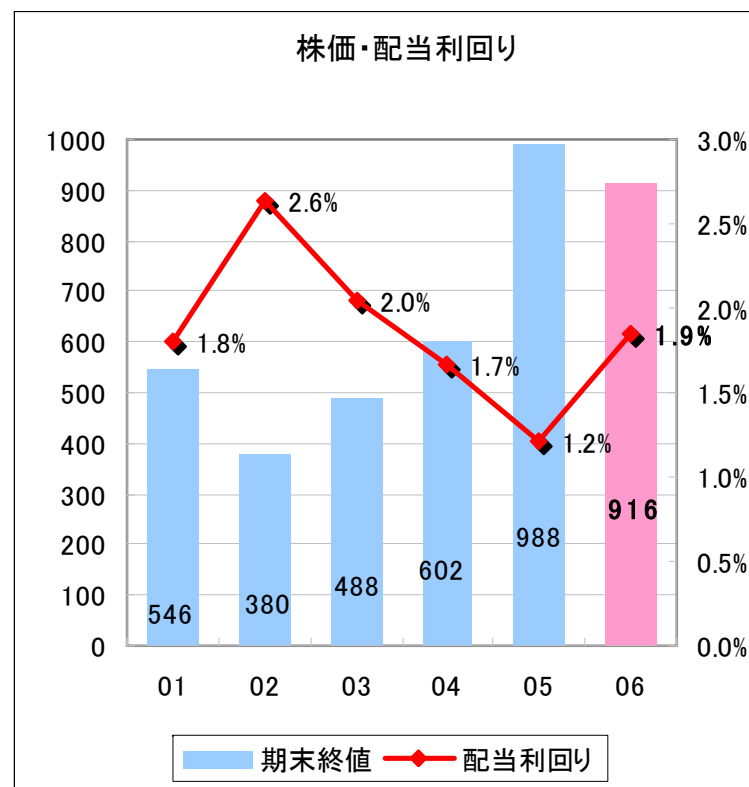
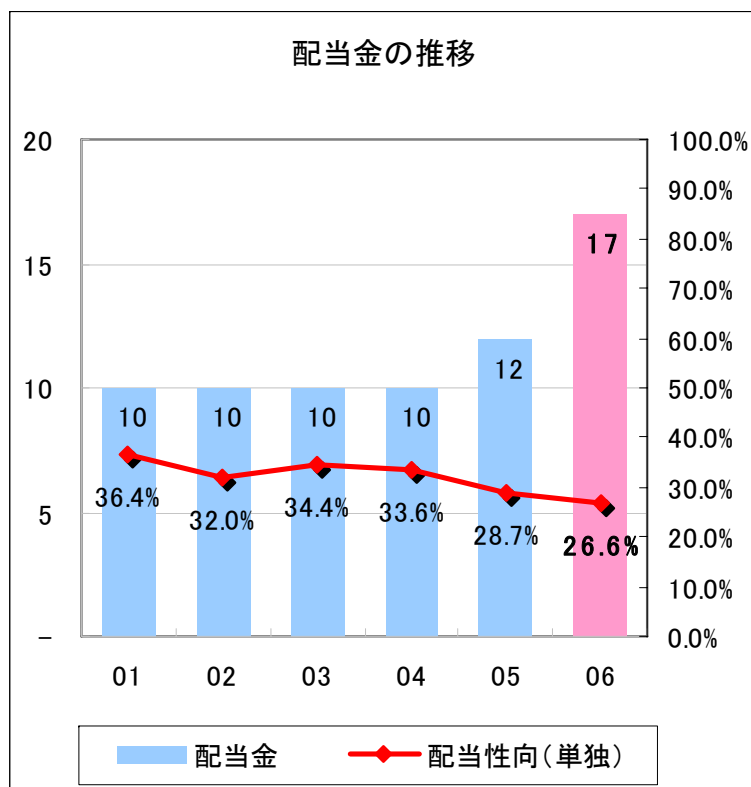


06年売上高：前年比+2,826百万円(+11.0%)

06年営業利益：前年比▲135百万円(▲3.6%)

株主還元方針

昨年に引き続きを2円増配し、さらに創立110周年記念配当として3円、
合計年間1株当たり17円(5円増配)とする。



業績予想

	05年	06年	07年予想	増減
売上高 (百万円)	75,808	81,500	97,000	+15,500
営業利益 (百万円)	5,862	6,052	6,800	+748
経常利益 (百万円)	6,278	6,519	7,000	+481
当期純利益 (百万円)	3,724	4,143	4,200	+57
1株当たり当期純利益 (円)	44.86	50.23	50.88	+0.65
配当 (円/株)	12	※ 17	17	-

※ 普通配当 14円 + 110周年記念配当 3円

セグメント別業績予想

繊維

	05年	06年	07年予想	増減
売上高 (百万円)	50,210	53,076	64,000	+10,924
営業利益 (百万円)	2,159	2,483	3,300	+817

非繊維

	05年	06年	07年予想	増減
売上高 (百万円)	25,598	28,424	33,000	+4,576
営業利益 (百万円)	3,703	3,568	3,500	▲68

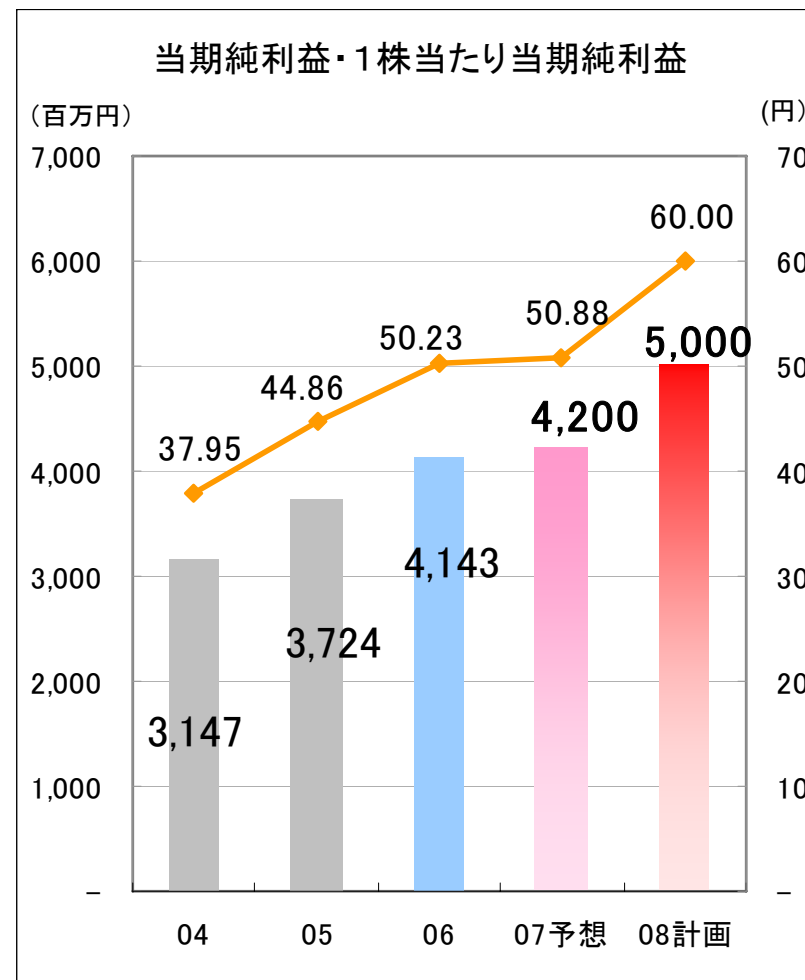
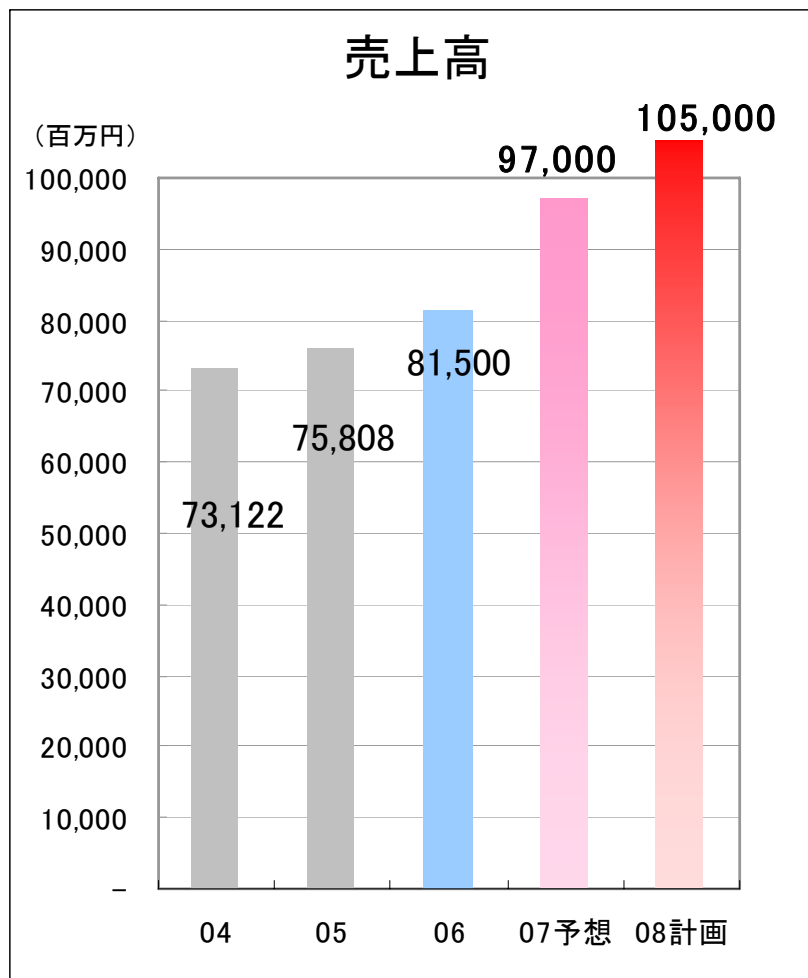
中期経営計画 NN2008

基本戦略

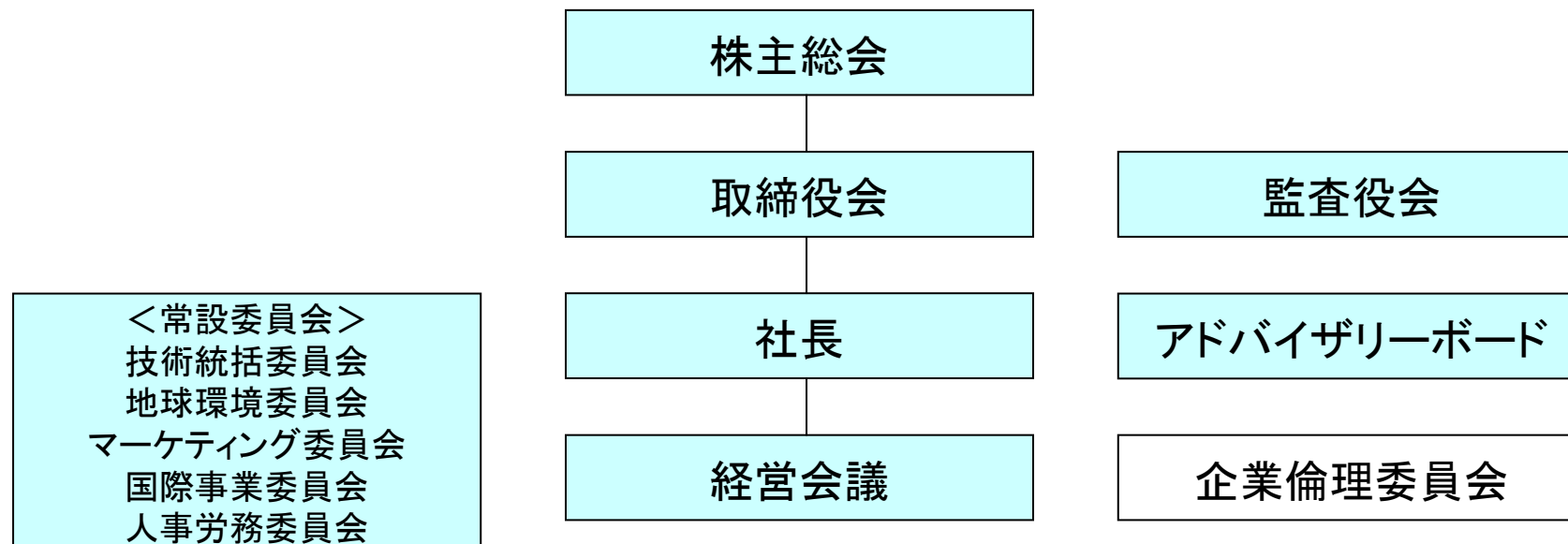
「1000億円企業として収益水準を高め、 持続的な成長を可能とする事業構造を構築する」

1. 衣料繊維事業は国際競争下での収益構造を確立し絶えざる成長を指向する。
2. 生活・産業資材事業、エンジニアリング事業、商業施設・スポーツ施設等の生活関連事業への経営資源の重点配分を継続し収益向上を目指す。
3. 独立企業と同様の採算意識を持った、自己変革する事業部を指向する。
4. 前中期経営計画において新たに加えたグループ会社については、成長と確実なシナジー効果の発揮により、グループ全体の収益に貢献する。

NN2008 経営目標(連結)



コーポレートガバナンス



2001年 取締役会議長を代表権のない取締役に

2003年 取締役の任期を1年に短縮

2004年 アドバイザリーボードを設置

2005年 役員退職慰労金制度を廃止

2006年 執行役員制度を導入、社外取締役を招聘

2007年 社外取締役2名に増員



信頼の軌跡、さらなる飛躍。

NIKKE

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記載は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであるため、実際の業績は今後さまざまな要因によって差異が生じる場合があります。